

# 20 大腸外科

## 次世代を担う、世界レベルの大腸外科医に！

### 国立がん研究センター東病院大腸外科での研修の特徴

- ・日本の大腸がん治療を担う、次世代のリーダーを育成
- ・世界基準の新規治療の確立に向けた臨床試験の実施、医療機器の開発
- ・基礎、臨床の枠にとらわれない研究活動のチャンス
- ・研修希望者の実力とニーズにマッチする、さまざまな研修コース



### 日本の大腸がん治療を担う、次世代のリーダーを育成します

大腸がん手術件数は年間約 430 例にのぼり、直腸がん領域では肛門機能を温存する ISR 手術を積極的に行っています。近年では、腹腔鏡下手術やロボット手術に加え、経肛門的アプローチである TaTME 手術を取り入れて、前年度は年間 130 例以上の TaTME 手術の実績があり、これは世界トップクラスです。



2018 年 大腸外科手術件数 733 件  
 (大腸がん切除術における腹腔鏡手術の割合は 95%)  
 ISR: 56 件、マイルズ手術: 20 件、低位前方切除: 136 件、高位前方切除: 42 件、S 状結腸切除: 68 件、左半結腸・横行結腸部分切除: 26 件、回盲部・右半結腸切除: 86 件

当科では、レジデントに対する教育指導にも力を入れており、執刀の機会には大いに恵まれていると思います。毎朝行うモーニングカンファレンスでは前日に行ったすべての腹腔鏡手術を 3 分間の動画に編集、英語によるプレゼンテーションを行い、熱い指導を受けることができます。その効果もあり、実際に数多くの先生が当科在籍中に日本内視鏡外科学会技術認定医に合格しています。



また、毎月開催される腹腔鏡手術勉強会では地域の先生も参加して白熱した discussion が行われ、その内容をレジデントの先生が実際に執筆し、『腹腔鏡下 S 状結腸切除徹底レクチャー』や『腹腔鏡下直腸癌手術徹底レクチャー』といった書籍も出版されました。

2018 年 レジデントの年間手術件数 (原発性大腸がん切除)  
 1. がん専門修練医 1 年目 A 先生 術者: 51 件、助手: 112 件  
 2. がん専門修練医 1 年目 B 先生 術者: 34 件、助手: 113 件  
 3. レジデント 3 年目 C 先生 術者: 48 件、助手: 90 件



### 世界基準の新規治療の確立に向けた臨床試験の実施、医療機器の開発

医療機器開発についても世界に先駆けて取り組んでおり、当院で開発した医療機器に関する臨床試験もすでに開始されています。また、新規治療の確立に向けて臨床研究も積極的に取り組み、直腸癌手術における術前化学療法や、免疫治療を組み合わせた術前放射線化学療法に関する臨床試験も行っています。これらの医療機器開発や臨床試験にはレジデントも主体的に関与することができ、通常の若手外科医では得がたい経験をするチャンスがあります。

### 基礎、臨床の枠にとらわれない研究活動のチャンス

- 指導医と一緒に海外での手術指導や国際会議に帯同することもあります。
- 国内外の学会で臨床研究の結果を発表し、論文作成も行います。連携大学院に入学する先生も多く、在籍中に学位を取得した卒業生も多数います。

### 研修希望者の実力とニーズにマッチする、さまざまな研修コース

正規レジデント (3 年間) モデルローテーション

研修内容	1 年目		2 年目		3 年目
	大腸外科	消化器外科ローテーション (食道・肝胆膵・胃)	麻酔科	病理	
目標とする資格	消化器外科学会専門医				日本内視鏡外科学会技術認定医

がん専門修練医 (2 年間) モデルローテーション

研修内容	1 年目	2 年目
	大腸外科専従研修	大腸外科専従研修
目標とする資格	日本内視鏡外科学会技術認定医	

研修コースについては、次項をご参照ください。



研修に関するお問い合わせ先

国立がん研究センター 東病院  
大腸外科

科長: 伊藤 雅昭

メールアドレス: maito@east.ncc.go.jp

東病院大腸外科レジデントプログラム HP  
[https://www.ncc.go.jp/jp/nccce/clinic/lowerabd\\_surgery/resident/](https://www.ncc.go.jp/jp/nccce/clinic/lowerabd_surgery/resident/)



Facebook 東病院 教育・研修情報  
<https://ja-jp.facebook.com/nceasteducation/>

